

平成27年8月17日 - クロナマコの種苗生産

平成27年5月16日 - クロナマコの種苗生産①～産卵と受精卵～

クロナマコの種苗生産①～産卵と受精卵～

4月中旬より始まったヒラメの種苗生産の過渡期が過ぎた5月16日、クロナマコの種苗生産が始まりました。まず始めに卵を採る「採卵」を行います。「採卵」とは、親ナマコに刺激を与えて放精・放卵を促し、受精卵を得る作業のことです。そして得られた受精卵が卵割をくり返し、1つの細胞だったものが2つ、4つ・・・と、その細胞数を増やしていく様子が確認できれば「採卵」は成功です。そして翌日にはナマコの赤ちゃんが生まれるのですが・・・それは、また次回お話しします。



写真1: 放卵の様子

頭の上からでてきている白いもの、親ナマコ周辺にある白い点状のもの全てが卵になります。大きさ0.15ミリの卵を大量に放出します。

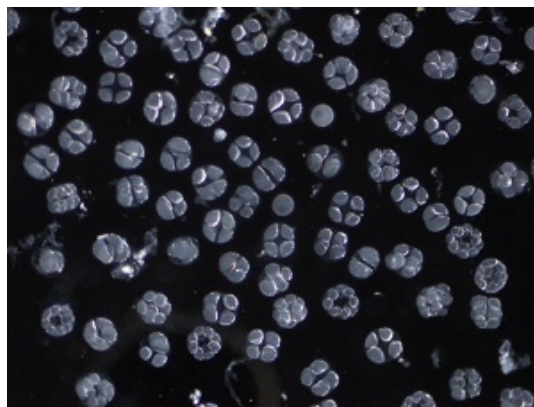


写真2: 受精卵

すでに卵割が始まっています。

[閉じる](#)